

日産化学株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：化学● 事業概要：化学品、ディスプレイ材料、半導体材料、農薬、動物薬、医薬品原薬等の化学製品の製造販売を行う研究開発型企業● 事業規模(連結)：資本金 18,942百万円 (2018年度) 従業員数 2,583人 売上 204,896百万円
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>2021年度までに2011年度比20%削減。 2030年度目標については検討中。</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> カテゴリー 1、10を対象とし、削減目標について社内で検討中。</p>

日産化学株式会社

項目	内容										
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 2018年度 <table border="1"> <caption>2018年度 GHG 排出量の状況</caption> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Scope-1</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>Scope-2</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>Scope-3</td> <td>65%</td> </tr> </tbody> </table>	Scope	割合	Scope-1	23%	Scope-2	12%	Scope-3	65%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 253,785 [tCO₂] 	
	Scope	割合									
	Scope-1	23%									
Scope-2	12%										
Scope-3	65%										
<p>Scope-3</p> <table border="1"> <caption>Scope-3 排出量の内訳</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入した製品・サービス</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>資本財</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>販売した製品の加工</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>販売した製品の使用</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	購入した製品・サービス	62%	資本財	4%	販売した製品の加工	20%	販売した製品の使用	9%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 128,647 [tCO₂] ● SCOPE3 : 703,562 [tCO₂] 目標の対象セクター： カテゴリー 1（購入した製品・サービス） カテゴリー 10（販売した製品の加工）
項目	割合										
購入した製品・サービス	62%										
資本財	4%										
販売した製品の加工	20%										
販売した製品の使用	9%										

日産化学株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>1) リスク：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動による豪雨や大型台風による物流や工場設備の被害のため製品の減産や減益。 ● 今後、炭素税や排出量取引制度が導入された場合における、税や費用負担増、規制対応の設備投資増による利益の減少。 <p>2) 機会：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重点事業領域の1つとして環境・エネルギー分野の研究開発を推進しており、新製品による収益が期待できる。 ● 気候変動によって農業における害虫や雑草による被害拡大が予想され、その防除のために、当社の農薬の収益が拡大する。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<p>1) 背景・目的：当社グループは、「優れた技術と商品・サービスにより、環境との調和を図りながら社会に貢献する」という企業理念を事業活動の基本とし、その実践であるCSR活動をより一層充実させるために削減目標を設定する。</p> <p>2) 期待する効果：ステークホルダーからの信頼性が向上し、SDGsの達成に向けた取り組みとしてアピールできる。</p>

日産化学株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 目標値の設定は環境安全・品質保証部が検討。● 経営層への承認を得るためのプロセスはCSR・広報室を事務局とし、部門担当役付執行役員をメンバーとするCSR委員会にて実施。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● ボイラーの燃料転換等の対策を進め、CO₂排出量を削減する。● 硝酸プラントにおける一酸化二窒素排出量削減を検討する。● Scope3のカテゴリ1、10の削減目標設定又はエンゲージメント目標設定を検討する。